

# 新年のごあいさつ



交流と賑わいがほとばしる  
明るい元気なまちづくりに向けて

大河原町長 齋 清志



新年明けましておめでとうございます。今年が町民の皆さまにとりまして、光明に輝き希望に満ちた1年でありますように、心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年の世相を表わす漢字は『金』ということでしたが、私に取りましては『転』であったと感じております。海外では英国のEU離脱、米国ではトランプ氏が大統領に当選と正に転換点となりました。国内では安保関連法の転換や小池東京都知事へのチェンジなどがありました。そして、本町では人口がいよいよ減少に転じ、手前味噌ですが通算3期目の町政の舵取り役に復帰させていただきました。世の中全体が『転』につながった年として、新たな期待感が生まれることを心から願ったところでです。

しごと創生総合戦略が策定されています。私の考える地方創生のキーワードは、『広域連携』と『地域の特性を活かす』ですが、『課題解決型』よりは『未来創造型』と位置づけております。

本町は県南地域の中心にあつて、交通・行政・医療・商業・文化といった高い地域力を活かしながら、着実に発展を遂げてきました。しかし、近年はその中心性・拠点性・利便性を十分に活かされていはいないのではないかと指摘されています。もちろん、大幅な経済成長や人口増加などの右肩上がり前提とした施策ばかり並べることではできません。今こそ、広域的な視点に立つて町の垣根を下げ、町の特性を強み(ブランド力)として高める施策が重要になると考えております。

敷の活用がありますが、『交流と賑わいがほとばしる明るい元気なまちづくり』として取り組んでいこうと考えています。すでに国に申請している白石川堤・一目千本桜ブランド化事業や、白石川つながりでの広域連携事業の創造など、5年先10年先を見据え一つ一つ着実に実現を図ってまいります。

また本町の強みとして、文化・歴史・自然・景観等の地域資源にも目を向けて、人と人、人と物、人と自然のかかわりに着目し、相互に活かしあう政策の展開を進めてまいります。今まさに、転換の時代の真直中にあつて、本町の果たすべき役割はますます大きなものとなってまいります。圏域の将来のために、また自立した地域として「住んで良かった」と皆さまに言っていただけのように全力投球してまいります。

# 町長・町議会議員



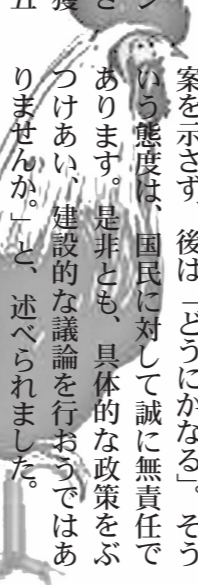
議会改革を通して  
町民に寄り添ったまちづくりを

大河原町議会議員 秋山 昇



新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、ご家族おそろいで健やかな新年をお迎えのことと存じ、心からお慶びを申し上げます。また大河原町議会に對しまして常日頃より多大なご理解とご協力を賜り衷心より厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、ブラジル・リオデジャネイロ五輪が8月に開催され、日本は史上最多となる41のメダルを獲得し、国中が歓喜にわきました。4年後の五輪は、いよいよ東京です。日本代表選手の一層の活躍を大いに期待したいと思えます。また、「東日本大震災」から5年目、各地で追悼の儀が行われるとともに、復興に向けてまた一歩踏み出しました。反面、悲しいニュースもありました。4月の「平成28年熊本地震」を始めとする西日本の群発地震や、8月の台風10号の上陸で、岩手県を中心に多くの犠牲者と甚大な被害をもたらしました。自然災害に對しての備えの大きさを、再確認したところでです。



昨年の1月国会施政方針演説冒頭で、安倍内閣総理大臣は、「経済成長、少子高齢化など、厳しさを増すなかでこの国会に求められていることは、こうした懸案に真正面から『挑戦』する。答えを出すことであります。批判だけに明け暮れ、対案を示さず、後は『どうにかなる』。そういう態度は、国民に對して誠に無責任であります。是非とも、具体的な政策をぶつけたい、建設的な議論を行おうではありませんか。」と、述べられました。町議会といたしましては、議決機関としての責務はもとより、より町民に「開かれた議会」を目指し、2014年に「議会基本条例」を制定し、議会の果たすべき責務等について明確にしてきたところです。しかし「議会改革」は決して条例を整備することが目的ではなく、そこからの活動こそが重要であり、着実に実行できる仕組みを作り上げ、日々取り組んでいくことが重要です。「何を行い、その結果どうなったのか」を確認しながら行動していくことで、町民の皆さまへの開かれた議

会、福祉の向上につながっていくものと思っております。昨年6月には議員有志による「議会改革推進会議」が立ち上がり、具体的な改革の行動に向けての検討を行ってきております。必要なものであれば改正もし、常に町民の皆さまに説明と意見交換を続けていくべきものと考えております。4月には選挙権年齢が18歳に引き下げられて初めてとなる「町議会議員選挙」が予定されております。町民に最も身近な議会として、未来の有権者も含め感動を与える仕事、成果へつながる活動がより求められてくるものと思っております。地域の課題を地域で解決するための政策を、町と議会が対等な立場で協議し、磨き上げていくことが、大河原町の地方創生へつながっていくものと感じ、地域を愛し、誇りを持って暮らせるまちづくりを皆さまとともに進めてまいります。結びに、町民の皆さまにとりまして、本年が輝かしい一年となりますことを心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。